



そして60年、「再会」の花はどんな色に輝いていますか

やすらぎ

題字：佐藤喜次さん筆（特養住民）

主な内容

デイサービスセンターぶなの園の驚きの効能	P 2
晴天！大にぎわい！第10回やすらぎ会夏祭り	P 3
特集「中堅よ理想を語ろう」	P 4
シリーズ「あの場所、あの人」	P 5

No. 41

2008 秋号

平成20年9月25日発行

晴天！大にぎわい！ 第10回やすらぎ会夏祭り



晴天のもと、沢山のお客様に喜んでいただきました。

が、いつそう賑やかさを増してくれました。まず、湯田の子供たちによる、太鼓演奏から祭りは始まりました。体の中まで響いてくる迫力ある演奏は、見ている利用者や家族の方々は勿論ですが、目を開

今年の夏祭りには、珍しく天気恵まれ外に出るのをためらいたくなるような晴天の中、行なうことが出来ました。浴衣姿の子供や遊びに来た子供たちが、会場を元気に動き回っているの



母さん!!かわいい子供たち踊ってる。

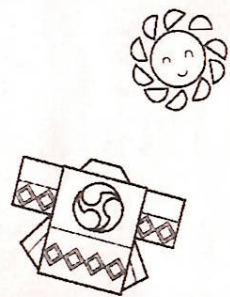
けられない利用者も肌や体で太鼓の演奏を感じていたのではないかと思います。そして、この日のために利用者が練習していた「りんごの歌」手拍子の中、家族と歌っている方、歌詞を眺めている方、それぞれが大合唱に参加していました。また、やよい会の踊りの最中には、利用者からは笑みがこぼれ、「子供の踊りはめんこい」と喜びの声も聞かれました。さんさ踊りでは、屋外ということもあり多くの利用者が輪に参加することができました。大抽選会では、当選した利用者よりも喜んでくれたボランティアさんと共に笑顔で景品を受け取りに行く場面も見られました。



孫とひ孫と一緒に、はい。

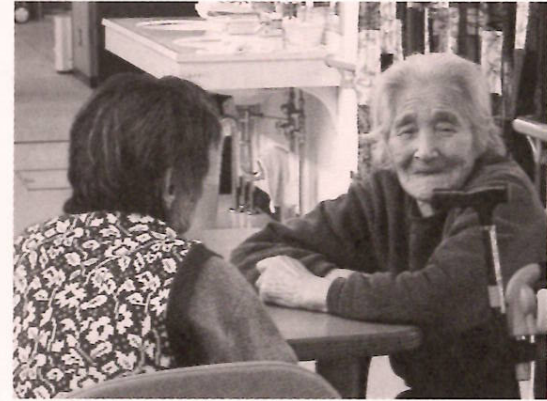


「母ちゃんうめが!？」



「デイぶな」は「気づくべし」とタイムマシーン機能付き? 知ってるようで知らない デイサービスセンターぶなの園(デイぶな)の日々

会話が別れの始まりといいますが「さよならは再び会うまでの遠い約束」と歌う唄もあります。デイぶなではまさに、歌の通りのことが時折起こります。そう、表紙の写真の女性たちは、およそ六十年ぶりの再会です。そして、その楽しい喜びにあふれた風景は、逢えない長い年月が育てたと思いませんか。



再会の花がまた一つ

さて皆さま、デイぶなにかよって来るおじいさんおばあさんが、どのように過ごしているかイメージしてみてください。懐かしい歌、昔の道具を見ての語り、音楽で運動、風船で

過ごし方ひとつです。いや、時として、一番に大切にしたい活動かもしれません。というのは、おばあさんおじいさんに認知症があったり、歳を重ねて気分が沈んでい

ながら、和気あいあいと楽しんでいる様子が見えてきますか。確かにそうですが、ここに紹介した「再会の花」もデイぶなの重要な



デイぶなで知り合っただけの新しい花です

たりすれば、先ほど示した活動にうまく取り組めない時があり、そんな時は、親しい友人、近所の人、子どもたち、むかし懐かしい人などとの「茶飲み話」があれば、心が元気を取り戻し、体も動き出すことが良くあ



学生さん来てるから頑張ります

れば(かだれば)、ほとんどの人の心も体も活き活きと動き出します。さあ、これを読んでくださった皆さん、デイぶなに気軽に遊び(ボランティア活動)に来てください。いま紹介したように「茶飲み話」だけでも十分に効果がありますから。そして朗報です。ボランティア活動は元気に歳をとること(老化予防)に効き目があるそうですよ。



気分が乗ってます

るからです。もちろん、先ほど示した活動にもその様な効果が期待できますが、この時にも職員だけでなく「おぼえた人」が一緒であ

特集I 中堅よ理想を語ろう

今回も、やすらぎ会のある職員4名でこれからみんなが地域で暮らしていけるようにするために、どのような援助があつて、支え合える形があるのか、いろいろなことから思ったことを話してみます。

H…地域で支える、近隣で支えるということからもう一回考えてみようと思うんだけど。

M…あまり気を遣う人だと、申し訳ないという気持ち先行して、やってくる方まで申し訳なくなることもある。

A…除雪にしても、交替で独居の方の道付けをしている方がいるけど、今の原油高を考えると、機械での除雪も大変になってきているように思えてならない。

M…そう考えると、金銭的に

なものもあるが、例えば何でも一回五百円のようなボランティアの方が、ただよりだばいい、と思えるんじゃないか。

A…昔の人は律儀な人が多いからね。

H…ちよつと前までは、ご飯の貸し借りや、何かあればすぐに手伝いにいく、というようなつながりが日常的にあつたな。

M…でも今は、その場で物には物、



福和の西郷さんどうは実り

住み慣れた地域で暮らすということ 今、支え合えるかたちとは？

買い物ツアアに出かける、というのは？

M…娯楽的なものもいいよね。パチンコとか。

A…そういつた、なんというか生活の質というか、充実した生活みたいなものにかかわるところが大いにあつてもいいのではないかな。

M…元気な高齢者をサポートする仕組みがあつてもいいよね。



西和賀の福祉よどこへ行く

H…少し前までは、公民館に集まつてなにかすることもあつたよ。うだが、最近は聞かなくなつたよね。

A…老人クラブの活動もあまり聞かなくなつてきたよね。高齢者の中でも後期の方の交流の場こそ欲しいよね。

M…そういつた人たちが集まるクラブみたいなものがあつてもいいよね。ピンポンとか羽根つきとかお手玉やおはじきクラブもいいよね。

J…囲碁や将棋、書道なんかもいいね。

A…いかに後期高齢者を元気にするかと、を考えてもいいよね。いかに元気な生きがいのある高齢者を一人でも増やすことを考えてもいいね。

語り合いリーダー
特養生活相談員 高橋 宏明 (つづく)

あの場所、あの人、思い出せば 懐かしくもあるが、希でもある

なつかしい人

特養ふなの園 刈田キヨ

こないだ、オラわらしだつたころに遊んだ人と八十年ぶりでいきあつた。

オラ「かむけのボー」って呼ばれてらつたし、その人「たんぼのタコ」ってわらしだ頃から子守してらんだっけ。

オラも、学校から帰れば甥っ子ぶつて、子守したもんだ。子守りどうしその人とそこら辺の川っこのほどりなどで、毎日のように遊んだもんだ。

スカンポ取って食べたり、めんこい花つこ取ってみたり、店っこのまねして「なんぼ」にするなんて決めてみたり、カゴもよく取って食つたもんだ。んめもんだっけ。トズラも取つた。これも、んめも



学校から帰れば甥っ子ぶつて、子守したもんだ

んだっけ。

ぶつてるわらし泣けば、ほろつて歩いたりしてなあ。

あのあたりだば、今と違って何も楽しむものねがつたが、かむけのボー」と遊ぶの一番おもしろがつたもんだ。

久しぶりに会うごど出来てい

青年時代の思い出

テイぶな 高橋善太郎

高等科を終えて百姓をしながら、青年学校には兵隊へ行くまでの二十歳までの間に週一回通つていた。

そして、十

九歳頃には勤労体験で旧湯田町の鷲合森鉱山へ動員させられた。仲間達と学区単位の十人程で、雪の降り始めの寒い季節に三週間の期間であつた。湯田の白石まで汽車で行き、

その後は山の狭い雪道を半日程歩いて辿りついた。その鉱山は何百人もの人でにぎやかであり、一つの街のように商店や分校なども建つていたはずであつた。

仕事は銅の採掘の下働き作業を



青年部時代に敬老会を手伝う (上から2列目左が善太郎さん)

一日一日精一杯にさせてもらいな

から寮生活をして過した。それまで自分は村の外へ出たことがなかつたし、長い期間家を開けることもなかつたため、その時に初めて三週間であつたが家を離れたことは

今でも思ひかえせる。もう六十年以上も前の事で遠い記憶になつてしまつてい

るが、初めての地での仲間達との仕事は楽しいことばかりではなく、厳しき辛さもあつたが、その後

の自分の百歳仕事や出稼ぎでの励みになつて支えてきてくれたと思う。今では鉱山も何十年前に閉鎖されたが、心に残る若い頃の思い出だ。

「人と人の

つながりを大切に

在宅福祉課長 平川 綾子

私は平成元年から今日まで福祉に関わる仕事をさせていただいております。

今年の四月から、八年ぶりに「西和賀介護相談室」(在宅のケアマネージャー)に異動になりました。おかげさまで池の魚が川に放されたような新鮮な思いで地域を訪問させていただいています。

私がヘルパーをしていた頃、高齢者の方の自宅での看取りは、今のような胃ろうの造設が簡単に考えられなかったときなので、医師を中心に本人や家族の希望するサービスを取り入れながら自然な形で行われてきました。

百歳近い女性の方で、息子さん夫婦が介護をしていましたが、毎日訪問介護、



豊かな山と川と田んぼがあって、西和賀の福祉は豊かですか

不安定な姿勢を取り除くために、ヘルパーが水着になって抱いて入浴介助をしたこともありました。言葉では言い表せないくらい気持ちよさそうにしていた表情は、今でも忘れることができません。又、訪問診療の医師が、精神的に不安になってきている利用者に対して、そばに寄り添い「死について」穏やかに話されている光景を見たときは本当に感動し「精神的ケアの大切さ」を教えていただきました。

在宅生活を主眼に置いた介護保険制度とは言いますが、保険だけではとうてい成り立たないと誰しもが思っていることでしょう。利用者の家族、近隣、友人、参加しているクラブ、民生委員やその他の人達とのつながりができて初めて地域での生活が確立してきます。「地域とのつながりが希薄になった」と言われる今だからこそ、まだまだ力不足ですが一人の専門職として、地域や行政を巻き込んだ地域で生活ができるケアプラン作りを実践していきたく思っています。

和賀川



理事長 深澤 貞夫

死亡をもたらす病気は、昭和初期では結核、赤痢などが多かったが、今日ではガン、高血圧、心筋こうそく、脳こうそくなどが占めている。また一方では、認知症(ボケ)になりやすい世代には、脳卒中やアルツハイマー病なども増えているという。

仕事一辺倒でつまじめ、趣味がなく遊ばない、友人が少ないなど「感性」の乏しい人に多いといわれる。右の脳を活性化させることが大切。それには音楽や絵画、ゲーム、スポーツ、友達つき合い、家族愛などが効果的、カラオケなどもいいのではないかと。

個人としての生活を大切に、健康、余暇、文化生活を楽しむなど「うるおい」のある生活空間をつくり上げることなど、「生きがい」「生き方」を見つけて余生を送る一助となるのでは。ストレス解消、自分に合った健康づくり、経済的自立、学習などが、高齢社会を生き延びる条件ではないか。

おじいちゃん おばあちゃんに聞いたんだよ

おじいちゃんから聞いた

「じよっばい」

貝沢小学校 三年 岩井 マキ

ある日、おじいちゃんがお父さんのことを話しました。「マキのお父さんはじよっばりだからなあ。」と言いました。わたしはさしよいみがわからなかつたけれど、なんとなく、「むりくり」といういみかなあと思いました。なぜなら、お父さんのイメージだからです。おじいちゃんは笑いながら、「まあそんなとこだ。」と言いました。いつか本当のいみを教えてほしいです。わたしのイメージしたことが当たっているかたしかめたいです。

このページは、子どもとおばあさんおじいさんとの風景をお伝えしています。今回は、沢内の大切な文化、風土の源になる沢内言葉についてです。ところで、「むりくり」も沢内言葉ですよ?

おばあちゃんから聞いた

「じやくまけぬ」

貝沢小学校 三年 川村 友真

ぼくはおばあちゃんときどきテレビを見ながらお話をするときがあります。あるときぼくがニュースで見た世の中のできごとについて、ぼくが知ったようなふりをしたとき、おばあちゃんは「こしやくまけてねえで勉強しねばだめだよ。」と言いました。何を言っているのかわかりませんでした。おばあちゃんにどういいういみと聞いたら、「こしやくまけるとは、なまいきなことか、よけいなことといういみだよ。」とおしえてくれました。ぼくはおばあちゃんにたいしてなまいきなのかなあ?それともよけいなことばかりしているのかなあ?とふと考えてしまいました。

やすらぎ会からの お知らせ

かたくりの園では、利用者の体調、趣味などに合わせた活動を行っています。その中に回想法があり季節や行事にちなみ利用者の方よりお話を聞く時間を設けています。普段あまりお話をされない人も若い頃を思い出し、かみ締めるように口を開いてくれます。終わると満足気に笑顔で「昔の話をして楽しかった」と話されます。



「回想法」のワンシーンです

三十分、四十分位の時間内の回想法ですが顔馴染みの方はもちろん新しく利用される方も親しくなれる良い機会のようなです。利用者の方はこうした交流の場としてかたくりの園をご利用いただいています。また、ご利用なさったことの無い方は、是非、施設の見学にいらして下さい。

□特別養護老人ホーム
ぶなの園

□デイサービスセンター
ぶなの園

□ホームヘルプステーション
ぶなの園

□西和賀介護相談室

西和賀町沢内字太田2地割135番地

電話 0197-85-2322

FAX 0197-85-2317

Eメール

bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp

□高齢者生活福祉センターかたくりの園

西和賀町沢内字大野17地割140番地1

電話 0197-85-3388

FAX 0197-85-3389

(発行・編集)

社会福祉法人やすらぎ会

広報委員会

平成20年6月～8月

【ご寄付】

・井口文子様

【ご寄贈】

・和泉美佐子様
・西和賀町婦人連絡協議会様
・泉全英様
・高下姫子様
・三浦武一郎様

【ボランティア等】

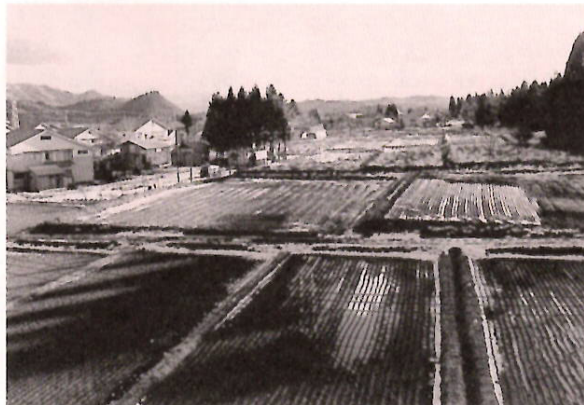
・どれみの会様	(特養支援)
・長瀬野婦人会様	(ホーム喫茶)
・若畑婦人会様	(ホーム喫茶)
・高橋佑子様	(デイ支援)
・高元睦子様	(デイ支援)
・佐々木エリ子様	(デイ支援)
・かたくりの友様	(草取り)
・佐々木紀子様	(草取り)
・特養家族会様	(草刈り)
・おはなしきらきら様	(紙芝居等)
・高橋昭士・和子様	(唄、踊り)
・深澤ノリ様	(デイ支援)

あたたかい善意を頂戴し
厚くお礼申しあげます

編集後記

前号40号のP3に表示の誤りがあり、それをお電話でご指摘をいただきました。事業活動報告書を事業活動計画書としていました。ご指摘いただき有難うございました。また、今後はより注意を払いながら編集にあたります。申し訳ございませんでした。しかし、細部まで見ていただき編集委員として励みになりました。これからも、皆さんからの感想、意見、福祉への思いなどをお待ちしています。

やすらぎ会 季節の風景



ぶなの園が建設される前
平成8年早春の風景写真

村民の中から特別養護老人ホームか、保健施設をつくってもらいたいと言う要望が持ち上がった。場所は沢内の中心地である太田地区に、そして可能であれば、沢内病院と連結し、「医療・福祉の拠点づくり」と夢が広がっていった。現在の建物面積は三、六五三・六七㎡、総事業費は十億を越す財政投資であった。